（様式第11号）

活　動　計　画　書

令和3年●月●日策定

○○町の森林を守る会

（様式第11号）

森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書

１．組織名

|  |
| --- |
| ○○町の森林を守る会 |

２．所在地

|  |
| --- |
| 長崎市勝山町37番地 |

３．地区の概要、取組の背景等

|  |
| --- |
| 活動地である長崎市○○町にある市有林は、森に通じる登山道として長崎市民に多く利用されている。現地のスギ林や竹林の荒廃が酷く、森林の多面的機能が発揮されないだけではなく、登山道は暗くて防犯上も不安である。この地域の森林を整備することで森林の持つ多面的機能の発揮や家族連れや高齢者の憩いの場として利用してもらうことで、森林保全の周知を目的として取り組んでいく。 |

４．取組概要

|  |
| --- |
| 安全な活動を最優先とし、1年目は荒廃した竹林や人工林の枯竹や枯損木を整理していき、2年目以降人工林については適正な本数まで間伐を行っていく。また、竹林については土砂が流出しない程度で段階的に伐竹していく。併せて登山道を利用する方々にも、整備の手伝いの呼びかけを行い、利用する方々を含めた整備を実施したい。3年目以降は適度な光が林床や登山道にあたるように整備を実施していき、明るい森林空間を作っていきたい。 |

５．構成員の概要

　　※構成員の居住地（どのような地域から参加しているか）、職種、経歴、所属団体等、構成員の多様性がわかるように記載すること。

|  |
| --- |
| 森林ボランティア関係者と森林に興味を持つ一般の会社員の集まりである。一般の会社員の方は森林ボランティアの活動を行ったことがない。一般の方たちに森林ボランティア活動に参加してもらえるような活動を確立していきたい。 |

６．地元の自治体、自治会、集落等のニーズに対応するなど地域の活性化への寄与

|  |
| --- |
| 活動対象森林は私有林であるが、市でも十分な管理が行えていない箇所である。登山道は利用者が多く、整備をすることで明るく歩きやすい登山道となることで利用者も増え、周辺地域が活性化していくと思われる。 |

７．年度別スケジュール

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 取組概要 | 3年度 | | 4年度 | | 5年度 | |
| １．活動推進費 | 推進会議、現地調査、モニタリング | |  | |  | |
| ２．実践活動 |  | |  | |  | |
| A-1地域環境保全タイプ  （里山林保全） | 雑草木の刈払い、枯損木の除伐 | 0.3ha | 雑草木の刈払い、除伐、間伐 | 0.6ha | 雑草木の刈払い、除伐、間伐 | 0.6ha |
| A-2地域環境保全タイプ  （侵入竹除去、竹林整備） | 枯れ竹の除去、竹林整備 | 0.3ha | 竹林整備 | 0.3ha | 竹林整備 | 0.3ha |
| B 森林資源利用タイプ |  | ha |  | ha |  | ha |
| C 森林機能強化タイプ |  | 0.3ha |  | ha |  | ha |
| 作業道の作設 | 100m |  | m |  | m |
| ２－１．間伐等（除伐・枝打ちを含む）実施面積 |  | 0.6ha |  | 0.9ha |  | 0.9ha |
| ２－２．活動を始める時点で長期にわたり手入れをされていなかったと考えられる里山林を整備する面積 |  | 0.6ha |  | ha |  | ha |
| D 関係人口創出・維持タイプ | 林業体験等の活動及び意見交換会の実施 | |  |  |  |  |
| ３．資機材・施設の整備 | チェーンソー2台  刈払機1台 | |  | |  | |

※１　延長には森林調査・見回りを除く。

※２　２のCの森林機能強化タイプの森林面積については、スケジュールの期間内に地域環境保全タイプ又は森林資源利用タイプにより森林整備を実施する面積を記載する。

※３　２－２については、2年目以降はその前年度までの活動により該当する里山林の整備を実施している場合はその里山林の面積を除外し、その年度に新たに該当する里山林の整備を実施する面積を記載する。

※４　２のDの関係人口創出・維持タイプについては、年度毎の実施内容を記載する。

８．活動の目標と活動結果を測定するためのモニタリング調査方法（地域環境保全タイプ及び森林資源利用タイプについて記載）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| タイプ名 | 目　標 | モニタリング調査方法 |
| 里山林保全タイプ | スギ・ヒノキ林の整備 | 相対幹拒比 |
| 竹林整備タイプ | タケノコが取れる竹林にしたい | 本数調査 |
|  |  |  |

（注）目標の設定及びモニタリング調査方法の記載については、別に定めるガイドラインを参考とすること。

９．年度別に実施する安全講習等の名称及び内容

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年　度 | 講習の名称 | 講習の内容 |
| 3年度 | 林業機械取り扱い講習 | 刈払機やチェーンソーの使い方や安全な作業について |
| 4年度 | 林業機械取り扱い講習 | 刈払機やチェーンソーの使い方や安全な作業について |
| 5年度 | 林業機械取り扱い講習 | 刈払機やチェーンソーの使い方や安全な作業について |

（注）安全講習等は、対象森林内で実施するものを記載すること。

１０．安全のために装備する物品及び傷害保険の名称

|  |
| --- |
| 安全装備：ヘルメット、手袋、安全靴、保護メガネ  傷害保険：三井住友海上火災 |

１１．４年目以降の活動（森林管理）計画

|  |
| --- |
| 4年目以降も森林ボランティアとして継続して活動に取組み、利用者と協働の森林づくりを行っていく。また、地域の人が森林の中を楽しめるように管理していく。 |

１２．計画図（協定の対象としている区域の図面）

　　　　取組の実施箇所の森林計画図を添付すること。森林計画図がない場合は、対象森林の面積が分かる縮尺5,000分の１以上の図面を添付すること。添付した図面に、計画期間中の各タイプの活動内容及び森林経営計画の策定の有無を図示すること。また、森林機能強化タイプにおいては、改修等を実施する路網や鳥獣被害防止柵を図示すること。

１３．持続性向上に向けた取組

|  |
| --- |
| 「活動する人材の育成や確保」のために  ・  ・  「活動経費の確保」のために  ・  ・ |

※活動する人材の育成や確保、活動経費の確保など、活動組織が本活動計画終了後も活動を継続していくために行おうとする取り組みについて記載する。

１４．その他

（１）写真

取組の実施箇所に長期にわたり手入れをしていなかったと考えられる里山林がある場合はその写真を添付すること。

（２）収入

　　　会費、林産物収入など森林・山村多面的機能発揮対策交付金以外の収入を記載すること。

|  |
| --- |
| 会員から年間1,000円の会費を徴収する。 |

（３）委託

取組を委託する場合は、次を記載すること。

|  |
| --- |
| 活動計画における取組についての委託 |
| ・委託機関名  ・連絡先（電話番号等）  ・委託時期  ・委託内容（委託する区域の林小班、委託業務の内容（面積、作業の内容）等）  ・委託金額 |